

差出人： [日本学術会議事務局](http://www.rpsj.org)  
宛先： [info@rpsj.org](mailto:info@rpsj.org)  
件名： 【SCJ】日本学術会議ニュース・メールNo.772  
日付： 2021年10月29日 15:00:47

---

=====  
\*\* 日本学術会議ニュース・メール \*\* No.772\* 2021/10/29  
=====

1. 【開催案内】公開シンポジウム  
「21世紀の国難災害を乗り越えるレジリエンスとは  
～防災統合知の構築戦略～」
2. 【開催案内】公開シンポジウム「フードシステムと養殖の未来」
3. 【開催案内】公開シンポジウム  
「科学的知見の創出に資する可視化（6）  
「総合知～幸福論からみた身心・細胞力、その真理の可視化～」」

■-----  
【開催案内】公開シンポジウム  
「21世紀の国難災害を乗り越えるレジリエンスとは  
～防災統合知の構築戦略～」  
-----■

【日時】2021年11月6日（土）16：30～18：00

【開催地】オンライン(You Tube Live配信)

【主催】日本学術会議土木工学・建築委員会IRDR分科会、防災減災連携研究  
ハブ (JHoP)

【参加費】無料

【事前申込み】

不要、ぼうさいこくたい2021のプログラムのページ

(<https://bosai-kokutai.jp/S40/>) に掲載するYouTube Live接続先よりご  
参加ください。

【開催趣旨】

南海トラフ地震、首都直下地震など巨大災害の発生が切迫している。また、地球規模の気候変動により、全国的に甚大な水害の発生の危険性が高まっていて、経済・社会活動が集中する首都圏では深刻である。こうした国難級リスクに適切に備え、被害を軽減し、並びに早期に回復する力、つまり災害レジリエンスの向上を図るためには、既存の学問分野の枠組みに囚われず、人文社会科学も含めた「総合知」により立ち向かう必要がある。他分野で活躍する日本を代表する研究者らによって、その構想や戦略について討議する。

【プログラム】

〈ぼうさいこくたいHP〉 <https://bosai-kokutai.jp/S40/>

〈日本学術会議HP〉 <https://www.scj.go.jp/ja/event/2021/316-s-1106-3.html>

【問い合わせ先】

国立研究開発法人防災科学技術研究所 イノベーション共創本部共創推進室  
メールアドレス：mizumotos@bosai.go.jp、k-igarashi@bosai.go.jp

■-----  
【開催案内】公開シンポジウム「フードシステムと養殖の未来」  
-----■

【日時】2021年11月12日（金）13:00～17:00

【場所】オンライン開催

【主催】日本学術会議 食料科学委員会 水産学分科会

【共催】水産・海洋科学研究連絡協議会、日本農学アカデミー、日本水産学会

【後援】大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、水産海洋学会、日本付着生物学会、日本魚病学会、国際漁業学会、日本ベントス学会、日本魚類学会、地域漁業学会、日仏海洋学会、日本海洋学会、日本水産増殖学会、マリンバイオテクノロジー学会、日本水産工学会、日本プランクトン学会、漁業経済学会、日本藻類学会、日本海洋政策学会

【参加費】無料

【定員】1000名

【事前申し込み】要

参加をご希望の方は、11月6日（土）までに、下記URLで参加申し込みサイトにアクセスして必要事項を入力の上、申し込みください。

<https://forms.gle/GGD2uUicmt7ksYQUA>

お申し込みいただいた方には、開催日までに、視聴用URLをメールにてご連絡いたします。

【開催趣旨】

私たちの食生活は高度に発達したフードシステムによって支えられているが、温室効果ガスの排出低減やフードロスの削減などの多くの課題があり、これからのフードシステムのあり方、その持続可能性が問われている。このような中、世界的に増大する水産物需要は今後も拡大すると予想され、安定的かつ持続的な水産物の供給への対応として水産養殖の発展が期待されている。

本シンポジウムでは、これからのフードシステムにおける養殖のあり方について、最前線の研究開発に加えて産業論や社会論の視点からも議論を行い、アカデミアにとどまらず広く社会に問題提起することを目的とする。

【プログラム】

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/316-s-1112.html>

【問い合わせ先】

高橋 一生（水産・海洋科学研究連絡会議幹事）

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科

TEL: 03-5841-5290 FAX: 03-5841-5308

E-mail: kazutakahashi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

■-----  
【開催案内】 公開シンポジウム

「科学的知見の創出に資する可視化（6）」

「総合知～幸福論からみた身心・細胞力、その真理の可視化～」

■-----  
【日時】 2021年11月30日（火）13:00～17:00

【開催地】 オンライン

【主催】 日本学術会議総合工学委員会 科学的知見の創出に資する可視化分科会

【参加費】 無料

【事前申込み】

要（事前申し込みを頂いた方には、後日視聴可能な録画サイトのご案内も予定しています。）

<https://gakujutukaigi1130.peatix.com/>

【開催趣旨】

2020年以降、人々は長期化するCOVID-19パンデミックに対応する中で、人と人の物理的距離を置くソーシャル・ディスタンスや実空間での対面を介さないテレワークなどの新たな生活様式（ニューノーマル）を体験し、順応し、当初の違和感を減じつつある。また、人工知能（AI）やデジタルトランスフォーメーション（DX）技術の急速な進展に伴い、諸活動の迅速性・正確性・利便性は増す一方で、負の影響も懸念される。

本シンポジウムでは、自然科学と人文社会科学の英知を結集した「総合知」の観点から、Society5.0や宇宙旅行時代の到来とともに予見される身体感覚の希薄化、身体のダイナミズムにおける「重力」意識の変化について論じる。また、古今の多彩な「幸福論」に照らし、身心・細胞力、性差の理解を通じて、人間存在と生命の真理の可視化・概念化に挑む。

【プログラム】

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2021/316-s-1130.html>

【問い合わせ先】

連絡先：清水美穂（東京農工大学工学府客員准教授）

メールアドレス：hucs.kenkyukai@gmail.com

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読み

いただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<http://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【日本学術会議ウェブサイトの常時暗号化について】

日本学術会議ウェブサイトは2021年10月1日より常時暗号化通信（TLS1.2）対応いたします。

新URL:<https://www.scj.go.jp>

日本学術会議ウェブサイトへのリンク、お気に入り等設定している場合は、お手数ですが「https」への修正をお願いいたします。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

---

発行：日本学術会議事務局 <http://www.sc.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34